

プラスチック製容器包装の分別について

1. プラスチック製容器包装の分別について

(1) プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律

海洋プラスチックごみ問題、気候変動問題、諸外国の廃棄物輸入規制強化等への対応を契機として、国内におけるプラスチックの資源循環を一層促進する必要性が高まっている。国においても、令和3年6月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が公布され、令和4年4月から施行予定である。

(2) 大牟田市における状況

大牟田市では、令和元年12月に策定した「大牟田市ごみ処理基本計画」に掲げるごみ減量化・資源化の取組みの一つとして、令和2年4月から市内4校区（中央、玉川、銀水、羽山台）、人口の約24%の住民を対象とし、プラスチック製容器包装のモデル収集を開始した。その後、対象校区を段階的に広げ、令和3年10月より市内全校区（19校区）において分別収集を実施している。

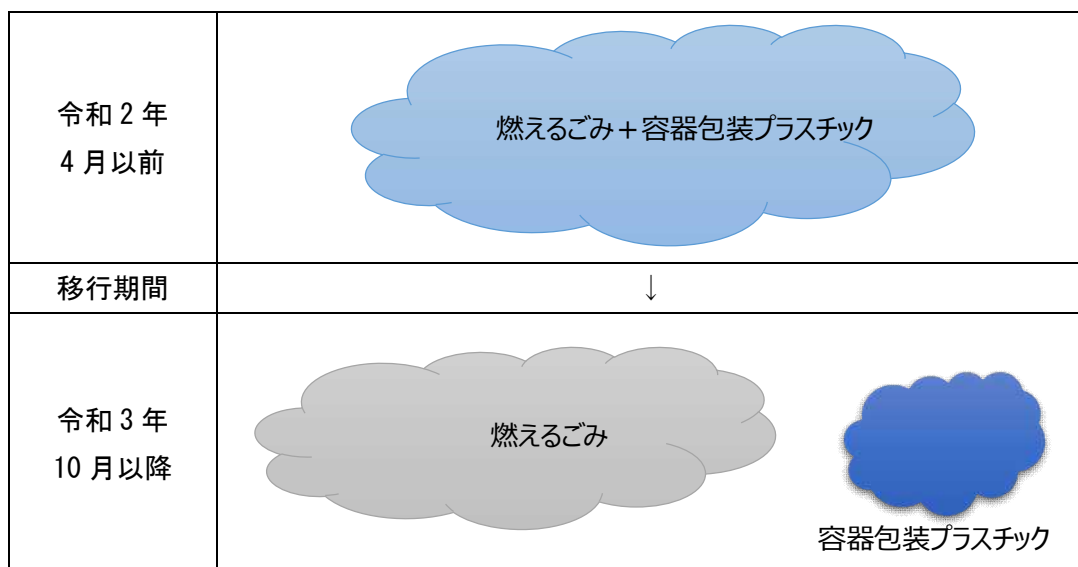


図 1 プラスチック製容器包装分別の概念図

(3) 荒尾市における状況

現時点では、荒尾市は「プラスチック製容器包装分別収集」を実施していない。

2. プラスチック製容器包装の分別状況

(1) 大牟田市

大牟田市における「プラスチック製容器包装分別収集」の普及状況を表 1 に示す。

表 1 大牟田市におけるプラスチック製容器包装分別普及状況

年度	月	プラスチック 排出量 (kg)	プラスチック 分別人口 (人)	大牟市人口 に占める分別割合	排出原単位 (g/人・日)
令和2	4	3,940	26,664	23.64%	4.93
令和2	5	7,650	26,664	23.64%	9.25
令和2	6	6,650	26,664	23.64%	8.31
令和2	7	7,800	26,631	23.65%	9.45
令和2	8	7,670	26,631	23.65%	9.29
令和2	9	9,270	26,631	23.65%	11.6
令和2	10	7,010	26,659	23.75%	8.48
令和2	11	6,930	26,659	23.75%	8.66
令和2	12	7,220	26,659	23.75%	8.74
令和2	1	9,210	26,592	23.76%	11.17
令和2	2	7,380	26,592	23.76%	9.91
令和2	3	9,490	26,592	23.76%	11.51
令和3	4	12,730	54,298	48.76%	7.81
令和3	5	16,310	54,236	48.75%	9.7
令和3	6	17,210	54,156	48.75%	10.59
令和3	7	19,610	81,295	73.25%	7.78
令和3	8	26,660	81,244	73.27%	10.59
令和3	9	25,900	81,103	73.23%	10.64
令和3	10	29,620	110,590	100.00%	8.64

3. プラスチック製容器包装の排出原単位の設定

大牟田市におけるプラスチック製容器包装の排出原単位について、移行期間における推移を図 2 に、各期間における平均値を表 2 に示す。

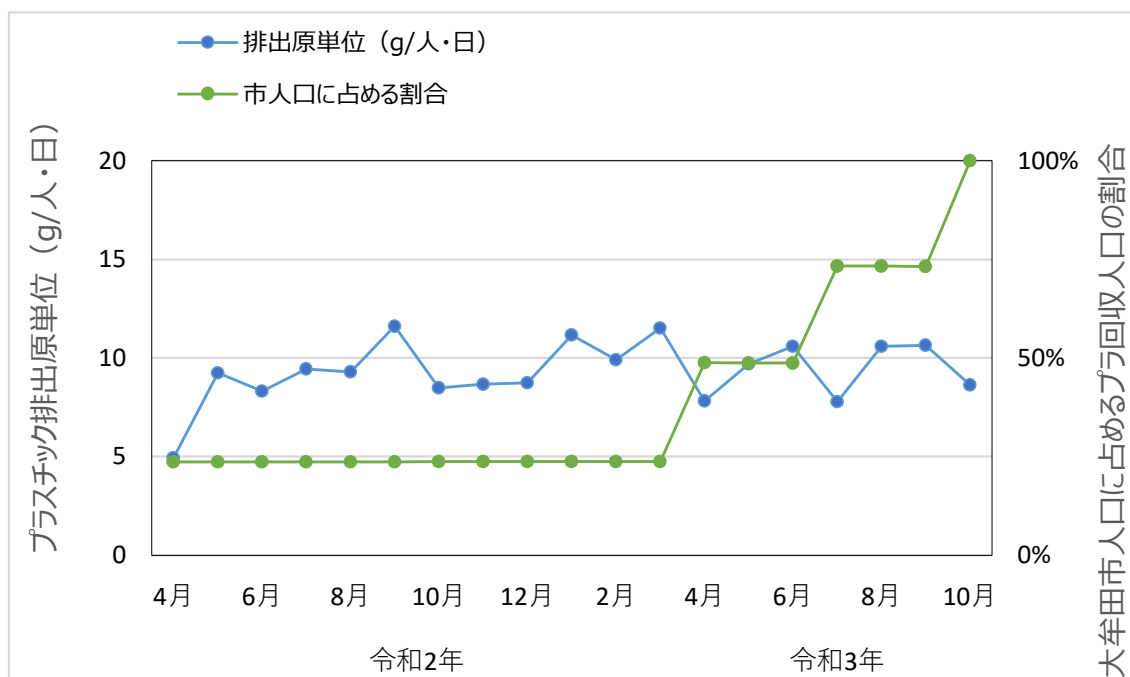


図 2 大牟田市の移行期間におけるプラスチック製容器包装排出原単位の推移

表 2 大牟田市におけるプラスチック製容器包装排出原単位 (期間平均)

期間	排出原単位 (g/人・日)	備考
令和 2 年度 (12 ヶ月)	9.28	
令和 3 年度 (7 ヶ月)	9.40	
令和 2~3 年度 (19 ヶ月)	9.32	「現状推移」の原単位に設定

■大牟田市における排出原単位の設定

現状推移：すべての移行期間 19 ヶ月の平均値である 9.32 (g/人・日) と設定する。

施策実施：「大牟田市ごみ処理基本計画」から、9.7 (g/人・日) と設定する。

■荒尾市における排出原単位の設定

現状推移：大牟田市と同様に、9.32 (g/人・日) と設定する。

施策実施：大牟田市と同様に、9.7 (g/人・日) と設定する

4. プラスチック製容器包装の分別量の試算

以下の式を用いて、両市におけるプラスチック製容器包装の排出量を算出する。

■プラスチック製容器包装の排出量算定式

$$\text{原単位 (g/人・日)} \times \text{将来人口 (人)} \times \text{年間日数 (日)} \div 10^6 \text{ (g/t)}$$

令和 10 年度の両市における現状推移のプラスチック製容器包装の排出量の見込みを表 3 に示す。大牟田市から 345t、荒尾市から 169t、合計で 514 t 排出される見込みである。

表 3 両市における令和 10 年度のプラスチック製容器包装の排出量（現状推移）

	大牟田市	荒尾市	合計
排出原単位 (g/人・日)	9.32	9.32	9.32
人口 (人)	101,380	49,600	150,980
年間日数 (日)	365	365	365
年間排出量 (t/年)	345	169	514

また、令和 10 年度の両市における施策実施のプラスチック製容器包装の排出量見込みを表 4 に示す。大牟田市から 400t、荒尾市から 179t、合計で 544 t 排出される見込みである。

表 4 両市における令和 10 年度のプラスチック製容器包装の排出量（施策実施）

	大牟田市	荒尾市	合計
排出原単位 (g/人・日)	9.7	9.7	9.7
人口 (人)	101,380	49,600	150,980
年間日数 (日)	365	365	365
年間排出量 (t/年)	359	176	535

以上